

栗原桂一・春江夫妻の採集品に基づくコメツキムシ類の記録(4)*

— 石垣島・西表島 —

大平仁夫

〒444-3511 岡崎市舞木町狐山6-4, 1-106

Some elaterid beetles collected by Mr. and Mrs. Kurihara in Yaeyama Islands of the Ryukyu Islands,
Japan (4) — Ishigaki and Iriomote Isles —

Hitoo ÔHIRA

筆者は上記の表題のもとに、栗原桂一・春江ご夫妻が2012年の4月に石垣島と西表島において採集されたコメツキムシ類を調べることができたので、ここに記録する。

本文を草するにあたり、貴重な標本を提供いただいた両氏の厚意に心から御礼を申しあげる。なお、ここに記録した標本は筆者が保管している。また、ここに記録した種の採集者はすべて2012年に栗原ご夫妻によるもので、採集者も同姓であるので、本文中ではこれらは省略して扱った。

種の記録

1. リュウキュウホソサビキコリ *Agrypnus (Sabikikorius) ryukyensis* (Kishii, 1985)

体長は18～20 mm 内外。外形はホソサビキコリに類似した種で、石垣島と西表島と黒島から記録されており、分類上の位置については、大平(2003)が報告している。本種は類似種が台湾や中国内陸に分布している。

調査標本: 1♂, 船浦(西表島), 20-IV, 桂一採集(ナイター); 相良川(西表島), 23-IV, 桂一採集(ナイター)。

2. ホソチビマメコメツキ *Miquasus tenuis* Kishii, 1994

石垣島と西表島から記録されている体長2 mm 内外で黒色、体の両側は平行状で、触角は暗褐色で肢は黄褐色をした光沢のある種である。平松広吉氏が1977年に西表島大富の雑木林から多数の個体を採集し、この成虫の形態は大平(1996)が報告している。成虫は4月から5月ごろに雑木林で集団で発生するが、この記録以降ではこれが最初の記録と思われる。

調査標本: 1ex., 屋良部林道(石垣島), 24-IV,

桂一採集。

3. オキナワオオハナコメツキ *Platynychus loochooensis* Kishii, 1994 (図1A)

体長は11 mm 内外、頭部と前胸背板は黒褐色、触角と肢は褐色で上翅は暗褐色、体表面に淡黄色毛を生じた種である。古くはカンショハナコメツキ(*P. formosanus*)として同定されていたが、大平(1999a)は石垣島やその周辺の島嶼に分布するものは上記種としている。その後のこの地域からの記録は、鈴木ほか(2004)による石垣島吉富があるのみで、FITで5月13～20日に見出されている。

調査標本: 2♂♂, 米原(石垣島), 16-IV, 春江採集; 1♂1♀, 船浦(西表島), 22-IV, 桂一採集; 1♀, 相良川(西表島), 23-IV, 桂一採集。

4. ツマグロコメツキ *Allocardiophorus nigroapicalis* (Miwa, 1927)

体長は9～10 mm 内外、黒色で光沢を有し、上翅の基部半分が黄橙色をした美麗種である。琉球列島の与論島、宮古島、伊良部島、石垣島、竹富島、黒島、西表島などから知られており、個体数は少ない。黒島産の成虫の形態は大平(1989)が報告している。生態はまだよく判明していないが、成虫は主として海岸沿いの草地帯で見出されていて、灯火にも飛来する。

標本: 1ex., 米原(石垣島), 24-IV, 春江採集; 1ex., 南風見田(西表島), 18-IV, 桂一採集。

5. タムラヒメハナコメツキ *Displatynychus tamurai* Kishii, 1974 (図1B)

体長は8 mm 内外で黒色、触角と肢は黄褐色をした種である。オオハナコメツキ属(*Platynychus*)の亜属として扱われていたが、現在は独立属とされている。成虫の形態は大平(1999b)が報告している。現在では琉球列島の奄美大島(喜界島を含む)

* (3): さやばねニューシリーズ, (5): 29-30, 2012.

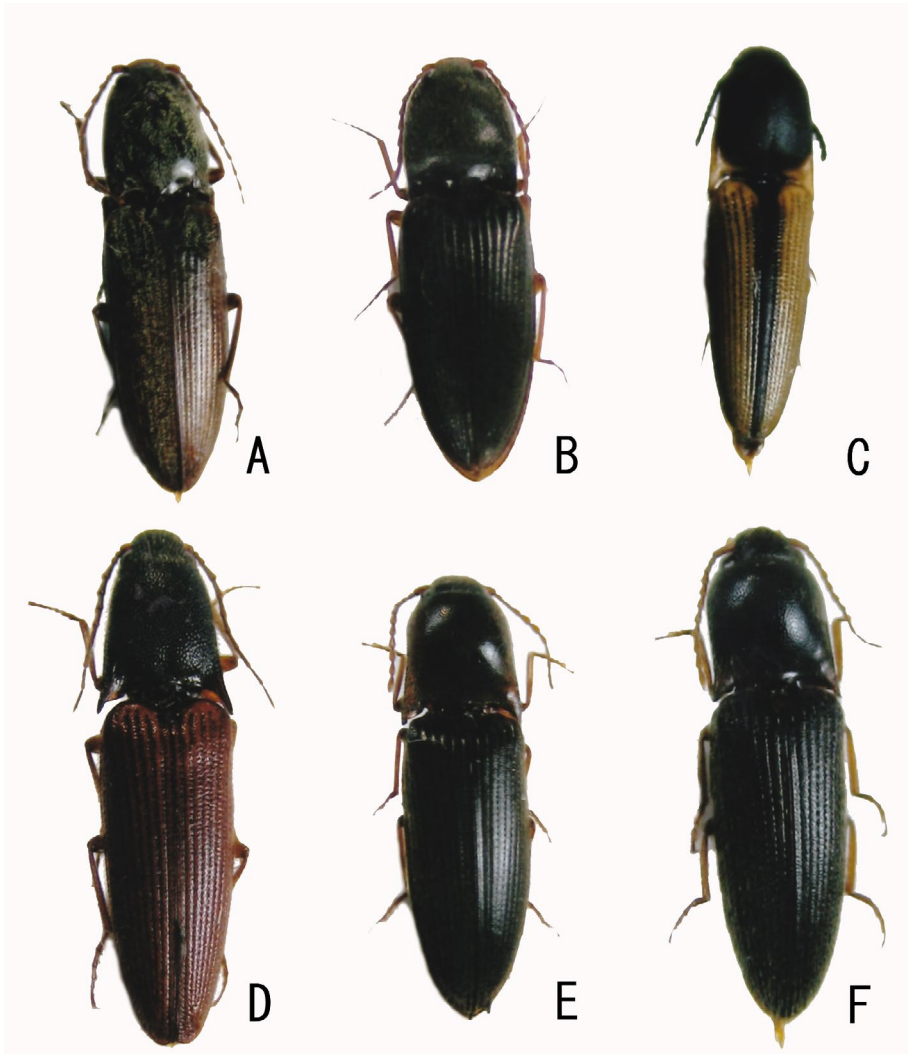


図1. A, オキナワオオハナコメツキ, ♂, 体長11 mm (相良川産) ; B, タムラハナコメツキ, ♀, 8 mm (米原産) ; C, キバネマメツヤケシコメツキ, ♀, 5 mm (南風見田産) ; D, アカホソコメツキ, ♂, 12 mm (屋良部林道産) ; E, ♀, ハテルマクチボソコメツキ, 9 mm (白浜林道産) ; F, ヨナグニクチボソコメツキ, ♂, 体長8 mm (屋良部林道産) .

から与那国島に至る島嶼の雑木林に分布, 花や灯火にも飛来するが, ときに小集団で見出される.

調査標本: 1♀, 屋良部林道 (石垣島), 24-IV, 春江採集; 1♀, 米原 (石垣島), 16-IV, 春江採集.

6. キバネマメツヤケシコメツキ *Abelater pulcherus* (Miwa, 1933) (図1C)

体長は4~5 mm内外. 体は黒色で光沢は鈍く, 前胸背板の後角部と上翅の会合線部と側縁部を除いた大部分は黄橙色, 触角は基部3節を除いて黒褐色, 肢は黄橙色をした種である. 石垣島, 西表島, 与那国島から知られており, 成虫の形態は大平 (1998) が石垣島産を報告している.

調査標本: 2♂♂, 屋良部林道 (石垣島), 15-IV, 桂一採集; 2♂♂, 1♀, 祖納岳 (西表島), 22-IV, 桂一採集; 2♂♂, 相良川 (西表島), 23-IV, 桂一採集.

7. アカホソコメツキ *Priopus ferrugineipennis ferrugineipennis* (Miwa, 1927) (図1D)

体長は12 mm内外で黒色, 上翅は濃赤色, 触角と肢が赤褐色をした美麗種で, 先島諸島に広く分布しており, 沖縄本島産は別亜種とされている. 前頭横隆線がよく発達し, 肢の爪は鋸歯状を呈しているので, 分類上ではクシコメツキ亜科 (*Melanotinae*) に含まれているが, 幼虫の形態はこの亜科のものとは異質的である. 成虫はアカメガ

シワの花に飛来する記録があるが、ここでは草上に静止している個体が見出された。

調査標本：2♂♂，屋良部林道（石垣島），12-IV，桂一採集；7♂♂，同，25-IV，春江採集；3♂♂，船浦（西表島），22-IV，桂一採集；2♂♂，相良川（西表島），23-IV，桂一採集。

8. ヤエヤマクシコメツキ *Melanotus (Melanotus) yaeyamacola* Kishii, 1974

体長は 12 mm 内外。体が暗褐色をした種で、宮古島以西の八重山諸島に広く分布している。一般外形は本州に分布するクシコメツキ (*M. legatus*) に類似しているが、雄交尾器の外形や、触角の第 3 節が短小であることなどから識別できる。成虫は主として農耕地やその周辺に分布、幼虫は甘蔗の根茎に入る主要な針金虫と思われる。

調査標本：1♂1♀，船浦（西表島），20-IV，桂一採集。

9. オモトクロクシコメツキ *Melanotus (Spheniscosomus) omotoensis* Ôhira, 1966

体長は 24 mm 内外もある黒色で光沢を有する大形種である。山林性で石垣島のオモト岳は代表的な産地である。西表島からの記録は少なく、浦内川上流のカンビレーの滝周辺で得られた記録が知られているのみと思われる。

調査標本：1♂，祖納岳（西表島），21-IV，春江採集。

10. ハテルマクチボソコメツキ *Glyphonyx haterumarum* Ôhira, 1968 (図1E)

体長は 8~9 mm。黒色で光沢を有する。西表島と石垣島に分布しているが個体数は多くない。成虫の形態は大平 (1999c) が報告している。また、石垣島と西表島産を別亜種とすることについてはさらに調査が必要と思われる。森林性で 5~6 月に見られるが、生態などはまだよく判明していない。

い。

標本：1♂1♀，白浜林道（西表島），18-IV，桂一採集；1♀，船浦（西表島），22-IV，桂一採集。

11. ヨナグニクチボソコメツキ *Glyphonyx yonaguni* Kishii, 1974 (図1F)

体長は 7 mm 内外。一般外形は前種に類似しているが、体はより小形である。また、頭部や前胸背板はより粗雑点刻を密に生じ、表皮面の光沢は鈍い。上翅の間室面もより皺状を呈する。与那国島が原産地で、石垣島からも記録されているが、西表島からはこれが最初の記録と思われる。成虫の形態は大平 (2000) が報告している。

標本：2♂♂，屋良部林道（石垣島），26-IV，桂一採集；1♀，船浦（西表島），22-IV，桂一採集。

引用文献

- 大平仁夫, 1989. 日本産ハナコメツキ亜科の 1 新属の記載. 昆虫学評論, 44(2): 79-80.
 大平仁夫, 1996. ホソチビマメコメツキの形態について. 越佐昆虫同好会々報, (76): 15-17.
 大平仁夫, 1998. 日本産マツヤケシコメツキ属の種について. Elytra, Tokyo, 24(1): 97-101.
 大平仁夫, 1999a. 日本産オオハナコメツキムシ属の種について. 比和科学博物館研究報告, (38): 349-355, 3 pls.
 大平仁夫, 1999b. 日本産ヒメハナコメツキ属の種について. 比和科学博物館研究報告, (38): 357-362, 2 pls.
 大平仁夫, 1999c. 九州に産するコメツキムシ科の珍種 (74). 北九州の昆虫, 46(2): 119-120, 1 pl.
 大平仁夫, 2000. 九州に産するコメツキムシ科の珍種 (75). 北九州の昆虫, 47(1): 5-6, 1 pl.
 大平仁夫, 2003. 日本産サビキコリ属の形態について (II) (甲虫目: コメツキムシ科, サビキコリ属, ホソサビキコリ亜属). 比和科学博物館研究報告, (42): 31-43, 7 pls.
 鈴木 互ほか, 2004. FIT により採集された石垣島のコメツキムシ. 神奈川虫報, (147): 1-5.

(2013年5月15日受領, 2013年6月15日受理)